



## 花と読書と笑顔の学校

### 2月の目標

- (生活) 寒さに負けず、落ち着いて行動しよう!
- (保健) 寒さに負けないからだをつくろう!
- (給食) 食事と環境問題について考えよう!

### 主な行事予定

- 24日(金) 代表委員会 児童保健委員会
- 27日(月) B校時(5・6年6校時)

### < 3月 >

- 3日(土) 第2回体育館清掃 第2回PTA全体会・懇親会
- 5日(月) B校時(5・6年6校時) 家庭学習強固週間(11日迄)
- 6日(火) 命を大切に心を育む日 全校集会 卒業式合同練習 委員会活動
- 7日(水) C校時 授業参観・学級PTA 家庭教育学級閉講式
- 9日(金) 6年生を送る会・お別れ遠足 司書補助務
- 12日(月) B校時(5・6年6校時) 卒業式合同練習
- 13日(火) 児童集会(3・4年) 卒業式式場設営 海中卒業式
- 14日(水) 卒業式予行
- 16日(金) 食育の日 司書補助務 代表委員会 卒業式合同練習
- 17日(土) 卒業式 閉校式 記念碑除幕式 惜別の会
- 19日(月) 振替休日
- 20日(火) 春分の日
- 23日(金) 修了式
- 24日(土) PTA・区合同送別会
- 28日(水) 離任式

### ふるさととは遠きにありて思うもの

先日、関西青潮会の藤田一朗会長から手紙が届きました。藤田会長は昭和31年に青瀬小を卒業されました。手紙には「昭和34年に関西に来て以来、青瀬の事は遠い思いになっていた。5年ほど前に家族と里帰りして、変わり果てた光景に自分の目を疑った…青瀬小の歴史を(関西の)皆さんに伝えていきたい」と。

この手紙を読んだとき、あの詩がふっと浮かんできました。

#### 小景異情—その二より 室生犀星

ふるさととは遠きにありて思ふもの  
そして悲しくたふもの  
よしや  
うらぶれて異土の乞食となるとても  
帰るところにあるまじや  
ひとり都のゆふぐれに  
ふるさとのおもひ涙ぐむ  
そのころもて  
遠きみやこにかへらばや  
遠きみやこにかへらばや

#### <意味>

故郷とは、遠くにいて思い出すものである。  
そして悲しく歌うものである。  
もしも、  
落ちぶれて、地元ではない土地で乞食になったとしても、  
(決して) 帰るところではないだろう。  
一人で都の夕暮れに  
故郷を思い出しながら涙ぐむ。  
そんな気持ちで、  
遠い都に帰ろう。  
遠い都に帰ろう。

青瀬小を卒業した多くの先輩方は、閉校の知らせを耳にしたとき、自分が青瀬で過ごした頃の同級生や先生方、近所の人たちのこと、そして美しい自然を思い浮かべられたことでしょう。

学習発表会で5年生が劇「心の中に…」を行いました。その中で「閉校しても僕たちの心の中に青瀬小学校がある限り、青瀬小学校はなくなる」と語っていた子どもたち。今、『ふるさと』という実感はないでしょう。しかし、今こどもたちの目にそして心に刻み込まれるものが原風景となり、大人になったときに懐かしく思い起こされることでしょう。

閉校まであとひと月。振り返る過去の多い大人にとっては、その寂しさだけが大きくなっていきますが、子どもたちには大人のような振り返る過去はありません。「私たちが歩み続ける限り、未来は生まれ続ける」ことを信じ、今日も普段通り元気な学校生活を送っています。

## 最後の学習発表会 感動、涙…

18日(土)に学習発表会が行われました。本校最後の学習発表会となりましたので、保護者の皆さん、地域や来賓の方々を含め60名以上の方々に参観していただきました。また、地域や保護者、海星中学生、かのか幼稚園児の皆さんの作品展示もあり、最後の学習発表会に華を添えていただきました。誠にありがとうございました。

本校は、3月17日に閉校式を迎えます。そしてきょうまで、子どもたちは精一杯日々過ごしてきました。この学習発表会においても、自分の思いを素直に表現しようと懸命に練習に励んできました。その成果が十二分に発揮された素晴らしい学習発表会となりました。閉校は誰にとっても最も悲しいのか?それは、とりもなおさず子どもたちです。しかし、子どもたちは悲しみなんか負けてはいません。現実にもひるむことなく、しっかり前を向いて歩いていきます。そんな思いが伝わってくる発表会でした。



1年「スーパー1年生」



高齢者学級との合唱「旧村民歌」他



3年「3年生とパフ」



5年「心の中に…」



全児童合奏「もののけ姫」



保護者 方言劇「青瀬太郎」



6年「終わりのことば」

たくさんのご来場

ありがとうございました!

## 第3回薩摩川内元気塾!

1月23日(月)長浜小にて第3回薩摩川内元気塾「将来の夢に向かって!! Lets Try～」が行われました。今回の講師は、本校OBの南日本新聞社編集局政経部記者川畑美佳さんでした。保護者の皆さんや校区の皆さんの中には覚えていらっしゃる方もおられると思います。川畑さんは平成13年に本校を卒業後、長崎の大学で学ばれた後に新聞社に入社されました。当日は、新聞記者になるまで夢を追っていく自らの姿や新聞記者になってからの喜びや悲しみ、そして新聞を活用した学習の仕方等についてもお話いただきました。

子どもたちにとっては初めての出会いながら、とても身近な「お姉さん」として映ったようで、とても共鳴・感動したようです。この川畑さんのお話を聞いて、「私も」、「ほくも」と声を大にして、自分の将来の夢に向かって突き進んでいく子どもたちがこの青瀬小からたくさん巣立っていくことを心から願っています。さあ、今から一歩踏み出しましょう。

学習発表会には、下の写真のように一般の方々からもたくさん作品を展示していただきました。また、青瀬小学校のこれまでの足跡を写真として展示しました。閉校式に展示予定です。どうぞ、閉校式へもおこしください。



写真で見る青瀬小の足跡



一般の方々の作品